徳島県立博物館研究報告
Bull. Tokushima Pref. Mus.
No. 33: 83–84, 2023

【短報】

クサビガヤ *Sphenopholis obtusata*（Michx.）Scribn. の宮崎県への帰化

茨木　靖[1]・齋藤政美[2]

[Yasushi Ibaragi[1] and Masami Saito[2]: *Sphenopholis obtusata* (Michx.) Scribn. newly naturalized in Miyazaki Prefecture]

Absrtact：A newly naturalized alien grass, *Sphenopholis obtusata* (Michx.) Scribn. in Miyazaki Prefecture is reported. This grass grows on road side bank at Yoshino, Miyazaki city. This plant might have been brought by the construction of the embankment in 2008.
キーワード：移入種，環境保全，植物誌

著者のひとり齋藤は, 2022 年 4 月, 宮崎市吉野において, 見かけないイネ科草本が群生しているのに気付いた（Fig. 1）. その後の検討により, これがクサビガヤ *Sphenopholis obtusata*（Michx.）Scribn. であると判明し, 宮崎県からは初出であることがわかったので記録した. 証拠標本は, 徳島県立博物館（TKPM）に収蔵した.

本種は, 北アメリカ～中央アメリカ原産の短命な多年草で, 1980 年に森　茂弥が横浜市で採集し, 和名を新称したとされる（森, 1988；木場, 2003）. 現在では, 本州の東京都と神奈川県に加え, 沖縄県からも記録がある（木場, 2003；植村ら, 2010）. また, 外見的な類似からミゾイチゴツナギモドキの別名もある.

本種は, 河川敷や耕作放棄地などに生えることが多く, 高さは 40-80㎝ほどで, 花序は枝が直立して細く, 葉身や葉鞘がざらつくことなど, 一見オオスズメノカタビラ *Poa trivialis* L. を思わせるが, 第二包穎が倒卵形で, 植物体が黄緑色をしていることなどで見分けられる（木場, 2003. Fig. 2）.

また, クサビガヤ属は, カナダからメキシコにかけての草原や森林地帯に 5 種が知られる（Clayton and Renvoize, 1986）が, 本種は小穂に芒を有さず, 護穎は側面が平滑, 第二包穎は亜僧帽形であり, 花序は閉じて穂状形になる点で他の種から識別できる（Hitchcock, 1950; Stubbendieck et al., 2017; Daniel, 2007）. なお, 本種には変種 *var. major*（Torr.）Erdman を認めることがあるが, 今回宮崎県で採集された植物は, 第二包穎が硬く, 明らかに 3-5 脈を有し, その先端が丸いことに加え, 円錐花序が密で穂状となることから明らかに異なる（Mohlenbrock, 2002）.

本種の発見された場所は, 宮崎県宮崎市吉野の本庄川堤防の法面上で, 幅 100m 程の範囲の中に数万株が密生して生育している状況であった（Fig. 3）. 当地は, 平成 20（2008）年 10 月から翌年 3 月にかけて築堤された場所で, おそら

Fig. 1. *Sphenopholis obtusata*（Michx.）Scribn.

2022 年 11 月 30 日受付, 12 月 21 日受理.
[1] 徳島県立博物館, 〒 770-8070 徳島市八万町文化の森総合公園. Tokushima Prefectural Museum, Bunka-no-Mori Park, Hachiman-chô, Tokushima 770-8070, Japan.
[2] 〒 880-0951　宮崎県宮崎市大塚町天神後 2737-3. 2737-3 Tenjingo, Ohtsuka-cho, Miyazaki-shi, Miyazaki 880-0951, Japan.

Fig. 2. An enlarged portion of an inflorescence.

く工事後の緑化工事などに伴って侵入したものと考えられる．

これまで本種は九州からの報告は無いが，土木工事や県外客の往来などに伴って分布を拡大している可能性もある．今後の本種の分布の広がりなどに注意を払う必要があろう．

標本：宮崎県宮崎市吉野本庄川堤防の法面（外側）．On the bank of Honjyo-gawa river, Yoshino, Miyazaki City, Miyazaki Pref., Kyushu, Japan.（齋藤政美 Masami Saito, s.n. 17 May, 2022, TKPM BSP-089071）

謝辞

本研究にあたり，桜美林大学の木場英久教授には，本種の分布などについての貴重なご意見をいただきました．ここに記して謝意を表します．

引用文献

Clayton, W. D. and S. A. Renvoize. 1986. Genera graminum, Grasses of the world. 389 p. Her Majesty's Stationery Office, London.

Daniel, T. F. 2007. *Sphenopholis* In: M. E. Barkworth, K. M. Capels, S. Long, L. K. Anderton and M. B. Piep eds., Flora of North America 24: Magnoliophyta: Commelinidae (in Part): Poaceae, part 1. Oxford University Press, Oxford.

Hitchcock, A. S. 1950. Manual of the grasses of the United States. 1051 p. United States Government Printing Office, Washington.

木場英久．2003．クサビガヤ属 *Sphenopholis*．清水建美編，日本の帰化植物，p. 262．平凡社，東京．

Mohlenbrock, R. H. 2002. Grasses: *Bromus* to *Paspalum*. Second ed. Southern Illinois University Press. Carbondale and Edwardsville.

森　茂弥．1988．クサビガヤ属．神奈川県植物誌調査会編，神奈川県植物誌 1988. p. 272. 神奈川県立博物館, 横浜.

Stubbendieck, J., S. L. Hatch and C. D. Dunn. 2017. Grasses of the Great Plains. Texas A & M University Press, College Station.

植村修二・勝山輝男・清水矩宏・水田光雄・森田弘彦・廣田伸七・池原直樹．2010．日本帰化植物写真図鑑 第2巻．579 p．全国農村教育協会，東京．

Fig. 3. Habitat of *Sphenopholis obtusata*（Michx.）Scribn. at Yoshino in Miyazaki city.